

東日本大震災FFジョイント施工現場確認について

株式会社 **サンリツ**

1. はじめに

平成23年3月11日に東日本大震災が発生しましたが、東北地方においてFFジョイント(以下FFJ)を採用頂いた施工場所が多数存在します。そのうちのひとつである岩手県盛岡市内施設での現状から、本技術の施工現場を確認しました。また、同現場で従来工法(モルタル、ボンドによるベルマウス取り付け)の状態も確認できたので双方の比較も行いました。

2. 確認内容

現場ハンドホールの蓋を開き目視で確認しました。なお、今回の施工現場は3月11日に震度5強、4月7日に震度5弱が発生しています。

FFジョイント施工現場



写真1 FFJ① 現場



写真2 FFJ① 内分面1



写真3 FFJ① 内部面2



写真4 FFJ① 内部面3



写真5 FFJ② 現場

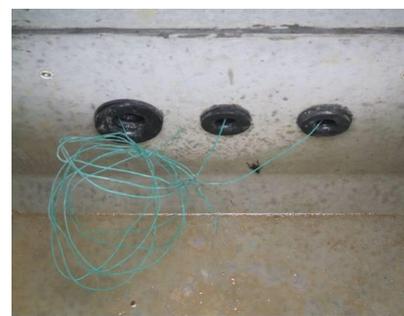


写真6 FFJ② 内部面

FFジョイントでは部材の破損や接続部からの浸水は確認されませんでした。

従来工法の施工現場



写真7 従来工法① 現場



写真8 従来工法① 内部面1



写真9 従来工法① 内部面2



写真10 従来工法① 内部面3



写真11 従来工法② 現場



写真12 従来工法② 内部

従来工法ではベルマウスの破損や浸水が確認されました。

3. 確認結果

今回確認した岩手県盛岡市内施設においては、FFジョイントの施工箇所での部材の破損、接続部からの浸水はなかったので耐震性の効果があったと判断出来ます。一方、従来工法での施工箇所では、ベルマウスの破損、浸水(削孔部から浸水している)が発生しています。

FFジョイントの耐震性は従来工法より優れていると考えます。今後、別の場所についても追跡調査を行います。

以上